

① 学習指導案

プログラム	No. 1 1 「 地域景観プランナーになろう 」
単元名 (全 時間)	魅力発見！！ 仏向町のよさを伝えよう！！ ～仏向町お気に入りの場所写真展～ (全35時間)
学習のねらい	自分の故郷である仏向町の魅力を写真という手段で伝えることで、地域と自分との関わりに気付くと共に、地域のためにできることについて考えることができるようにする。
学習内容	1 仏向小学校の好きな場所の写真を撮影し、写真展を開催する。 2 仏向町の好きな場所の写真を撮影し、写真展を開催する。 3 写真を1冊のフォトブックとしてまとめる。 4 フォトブックを学校や自治体、協力団体に寄贈する。
参考資料	参考資料「開成町のフォトブック」
準備品	機材「iPad」
実施場所等	実施場所「仏向小学校」「仏向町」

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 2	○総合のテーマを決める。	・子どもたちと過去の実践や総合という教科の価値を共有することで、今年度のテーマを出すことができるようにする。	★今年度の総合のテーマを考え、意欲を高めることができる。
3 ～ 7	○仏向小写真展の準備をする。 ・仏向小のお気に入りの場所を写真で撮影する。	・5年間の思い出を振り返り、選択した場所のエピソードを添えた紹介文と共に写真を紹介できるようにする。	★学校と自分との関りを振り返り、選択した根拠を明確にして写真を撮ることが出来る。 ★効果的な写真撮影の方法を知り、自分の写真に生かしている。
8 9 10	○写真撮影のこつを教わる。	・プロカメラマンとの出会いを設定し、魅力を伝えられるような写真撮影の方法を理解できるようにする。	
11 ～ 16	・写真展を開催するために必要なことを分担して準備する。 ・写真展を運営する。	・一人ひとりが写真展に向けて準備をすることで、貢献感を獲得できるようにする。 ・それぞれの責任を果たし、写真展を運営できるようにする。	★写真展の様子から、成果や課題に気づいている。
17	○写真展を振り返る ・成果と課題、次への活動の見通しをもつ。	・子どもたちの活動を価値づけると共に次の活動へ見通しをもち、意欲を高めることができるようにする。	★写真展を振り返ることで、活動の価値を見いだす共に、次回の活

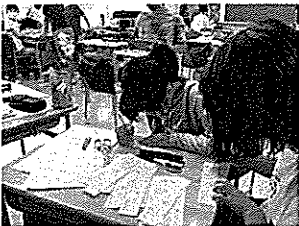
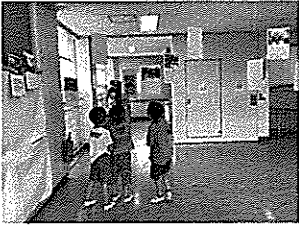

18	○仏向町写真展の準備 ～ をする。		動への意欲を高めることができる。
23	・仏向小のお気に入り の場所を写真で撮影す る。	・地域の良さを紹介するという目的 を意識しながら写真を撮影でき るようにする。	★目的意識と他者意識 をもって写真を撮ること ができる。
24	・写真展を運営する。	・自分の役割分担を果たし、写真展 を運営できるようにする。	★自分の仕事を理解し 、考えて行動すること ができる。
25	○写真展を振り返る	・写真展の成果や課題から活動の価 値づけをすると共に、「活動のま とめ方」について考えられるよ うにする。	★活動の目的に立ち返 り、まとめ方を考える ことができる。
26	・成果と課題、次への 活動の見通しをもつ。		
27	○活動のまとめにつ い		
28	て話し合う。 ・撮りだめた写真をフ ォトブックとしてまと める。	・様々な写真の中から「仏向町の良 さ」という観点で選定することが できるようにする。	★「仏向町の魅力」と いう観点から写真を選 定することができる。
29	○フォトブックの作成 ～ をする。	・選定した写真の魅力が伝わるよ うな文章を書くことができると うにする。	★「仏向町の魅力」が 伝わるよう、具体的な 紹介文を書くことが できる。
33	・写真選定をする。 ・紹介文を書く。		
34	○フォトブック贈呈式	・自分たちの活動の集大成となるよ う望み、一年間の活動の価値づ けをできるようにする。	★自分の活動を振り返 り、「地域」への愛着 を深め、自分にでき ることを考えている。
35	を行う。		







#### <留意点>

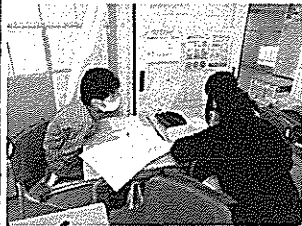
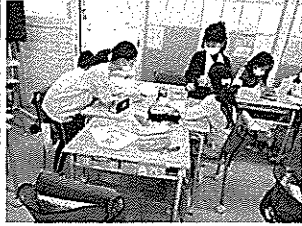


「自分事」の活動になるよう、「個人」を意識して活動を進める。「『私』のお気に入りの場所撮影」、「一人ひとりに役割のある写真展運営」、「『私』の思い出を具体的に振り返った紹介文」等、「個人」を大切に活動をしていく中で、活動を「自分事」としてほしい。そして、「個人が集まって共通の目的に向かって進んでいる」という共同的な思考に変容させたい。「他人任せ」にしてしまう児童の実態を踏まえた上で、「『個人』の貢献が集まって一つの大きな目的な達成される」という学びにつなげてほしい。また、普段何気なく生活している「地域」へ目を向けるきっかけをつくりたい。「地域と自分との科かわり」を見直したり、「地域で生活していくことの意義」について考えたりするきっかけとなるよう思考を広げていきたい。

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立 仏向小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1 2	教室	<p>○活動内容の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の総合は、「歌の楽しさを地域の人に伝える」というテーマで活動をしたことから思考を発展させ、「地域の良さを発信する」という今年度のテーマを設定した。</li> <li>・「子どもたち一人ひとりが活動できる。」という理由から伝える方法が「写真」となった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の総合の楽しい経験を想起し、今年度の活動にも期待している発言が聞かれた。</li> </ul>
3 ～ 17	教室  特別 教室	<p>○仏向小写真展の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが「お気に入りの仏向小」をテーマに写真を撮影した。</li> <li>・会場設営、宣伝など、分担をして準備をした。</li> <li>・プロカメラマンに写真撮影のアドバイスをもらい、より伝わる表現方法を知った。</li> </ul> <p>○仏向小写真展開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月13日から17日の5日間にかけて、写真展を開催。約500人の子どもたち、教師に写真を紹介した。</li> </ul>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の学習と関係、他者意識をもった紹介文と写真を合わせて展示することにした。お気に入りの場所の選定理由に「エピソード」を入れると、気持ちが伝わることに気づくことができた。</li> <li>・思った以上の集客があった。困ったことはその日のうちに話し合い、次の日の運営に生かすことができた。</li> </ul>

<p>18 ～ 28</p>	<p>教室</p> <p>地域</p> <p>特別教室</p> <p>地域の展示場 2か所</p>	<p>○仏向町写真展の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを「仏向町のお気に入りの場所」と地域に広げ、紹介したい場所を検討した。</li> <li>・撮影計画を立て、分別に撮影に出かけた。</li> <li>・展示場所を「多くの人に見てもらえる場所」とし、駅近くのオフィスビルや保土ヶ谷公園内のギャラリーに展示できるよう交渉して決定した。</li> <li>・学校内だけでなく地域の人に伝わる宣伝方法を考え計画、実践した。</li> </ul> <p>○仏向町「お気に入りの場所写真展」の開催。</p> <p>12月8日から19日の約2週間開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の広報誌に写真展の概要を載せていただくなど、多くの人に届ける工夫を考え、実践した。</li> <li>・写真展の場所まで、作品や道具を運搬し、展示をした。</li> </ul> <p>○写真展を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100枚を超えるアンケートからたくさんの方が仏向町のよさを感じてくれたことを実感した。</li> </ul>	     	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目の写真展で予想以上の成果をあげることができたことから、活動に対して非常に前向きであった。</li> <li>・「撮影場所を地域に広げたい。」という意識のもと具体的な活動に入ることができた。</li> <li>・集客について考え、YouTubeやポスターといった多様な方法に挑戦した。</li> <li>・子どもによる取材交渉により、新聞に掲載され、自信をもつことができた。</li> <li>・営業時間外を利用して、写真を展示した。当初予定していた紐の長さでは「写真が見えにくいのではないか。」という意見が出され、急遽紐の長さを調整し直して展示した。</li> <li>・多くのアンケートから自分たちのねらいが伝わったことを喜んでいた。「もう一度開催したい。」という意見も出たため話し合った。</li> </ul>
------------------------	---	---	--	--

<p>29 ～ 33</p>	<p>教室</p>	<p>○仏向町「フォトブック」の作製。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真展に来た方のお礼、来れなかった方に仏向町のよさを届けたいという思いからフォトブック製作を計画・実施した。</li> <li>・フォトブックの名前、表紙から内容まで、子どもたちで話し合って決めた。</li> <li>・地域のお店などにご協力いただき、フォトブックを設置。無償で配布した。100冊配付したが好評だったため、50冊増刷した。</li> </ul>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回目の写真展を開催するかどうか話し合い、残された時間との兼ね合いから、「フォトブック製作」をするということになった。</li> <li>・「会場へ来れなかった人にも届けたい。」という思いをもって内容を考えた。</li> <li>・「仏向町に実際に来てもらいたい。」という願いから付録として地図をつけることを考え、オリジナル学区地図を作った。</li> </ul>
<p>34 35</p>	<p>教室</p>	<p>○活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域に伝える。」という目的を達成するとともに、「自分の地域の魅力」に改めて気付くことができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの活動が、地域の多くの人々に喜んでもらえることを誇らしく感じた。</li> <li>・「人」との関りの中で、自分の故郷の魅力や優しさを再認識することができた。</li> </ul>

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>一番の願いは、「子ども一人ひとりが自分の思いを表現できる活動にする」ということであつた。そのために、「一人ひとりが活動に参加できること」を意識した。「自分が気に入っている場所を選んで写真を撮影する」ことで、活動への参加を促し、体験したことによる一人ひとりの「エピソード」をつくることができるようにした。表現できるようにする工夫としては、全員が「写真」を話題として話すことができるようにした。普段は表現することに対して消極的になってしまう子どもも、「写真」という実物と、それを撮影した「エピソード」により、抵抗が少なく自分の気持ちを表現することができるようになった。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>「写真」のよさを話し合うことが難しい。それぞれの感覚に起因するため、「写真をより良くする」という具体的なアイデアが出しにくかつた。しかし、プロカメラマンとの出会いにより、カメラのアングルを教えてもらっただけで、写真の質が格段に充実した。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>「写真」を撮影すると思わず見せたくなる。友達がおもしろい構図で撮影していると、その工夫を取り入れてもう一度撮ってみる。というような、「写真」を介した学び合いをみることができた。撮影した写真をみんなで見合う活動では、普段の授業では自信がなくて発表することが少ない子どもも積極的にみんなの前で写真を紹介することができた。「将来は、カメラマンになろうかな。」と言っている子どもたちもいた。地域の写真を撮りに出かけると、子どもたちでも知らない絶景に出合うことができた。地域への愛着をもってもらうことをねらいとしていたため、「自分も知らない仏向町」に気付けたことは価値がある。写真展後に製作したフォトブックの内容を話し合う場面では、「仏向町の良さを伝えたい。」という気持ちから、「仏向町へ来てほしい。」という願いに変容したことが子どもたちの発言から感じられた。自分の故郷である「仏向町」に対する愛着が表現された場面であつた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>子どもたちが主体的に学びをつくっていく楽しさを感じていることが、担任にとっての励みにもなつた。特に、地域で写真展を開催したときには、多くの来場者からの感想をいただいた。100枚を超える感想を嬉しそうに眺めている子どもたちの表情や、自分たちの活動に自信を深めていく発言から、「体験を通した表現活動と多様なフィードバック」の重要性を感じると共に、授業観の変革となつた。さらに、子どもたちが次々と計画を実行に移す姿勢や生き生きと活動する姿は、多くの教員に刺激を与えた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今回の活動において狙っていた「子ども一人ひとりが自分の思いを表現する」という目標は達成できた。その経験から積み上げた自信を次年度でさらに積み重ねてほしい。そのためには、総合的な学習の時間をより「子ども主体」でつくりあげる必要がある。今年度は、教師の意図や願いが強めに出た場面もあつたので、より子どもの思いに即した展開。より子どもが問題解決する場面にじっくり取り組んでほしい。そして、「みんなでアイデアを出し合つてつくりあげた。」という経験を深めてほしい。</p>